



授業のねらいと指導内容及び願う子供の姿		
○授業のねらい	○指導内容	◆各時間終了後の願う子供の姿
1時間目 ○「柔道の授業の流れを確認する」 ○オリエンテーション（単元の見通しを持たせる） ○柔道衣の着方	○ 礼法	◆柔道の授業の見通しを持つことができる。 ◆礼法の大切さを理解し、相手を尊重する気持ちを持つ。
2時間目 ○「基本的な技能を身につける①」 ○ 後ろ受け身・横受け身		◆正しい受け身を身につけ、自分の身を守ることができる。
3時間目 ○「基本的な技能を身につける②」 ○ 前回り受け身（右・左）		◆正しい受け身を身につけ、自分の身を守ることができます。
4時間目 ○「相手に技を仕掛ける」 ○ 固め技の定義を理解させる。 ○ 効果的な技はどれかを考えさせる。		◆固め技の定義を理解する。 ①「仰向であること」 ②「概ね相手と向かい合っていること」 ③「足または胴体が相手の足に絡まれていないこと」
5時間目 ○「固め技を覚える①」 ○ 固め技（袈裟固め）	○ 約束練習	◆袈裟固めを仕掛け、相手を抑え込むことができる。
6時間目 ○「固め技を覚える②」 ○ 固め技（横四方固め・上四方固め）	○ 約束練習	◆横四方固め・上四方固めを仕掛け、相手を抑え込むことができる。
7時間目 ○「固め技の攻防の仕方を覚える」 ○ 約束練習	○ 自由練習	◆相手の動きに応じて、技をかけることができる。
8時間目 ○「投げた相手に固め技を仕掛ける」 ○ 約束練習	○ 自由練習	◆投げた相手を瞬時に抑え込むことができる。
9時間目 ○「身につけた技能を生かし、試合を楽しむ」 ○ 固め技のみの団体戦		◆積極的に技を仕掛け、攻防を展開している。

時	1	2	3	④	5	6	7	8	9	学習過程		
										集合・挨拶・健康観察・準備運動・回転運動		
10	オリエンテーション	基本的な技能の習得	固め技を仕掛ける		固め技①	固め技②	固め技の攻防			固め技①	固め技②	投げた相手に固め技を施す
	・学習の進め方	・後ろ受け身	・固め技の定義		・けさ固	・横四方	・約束練習			・けさ固	・縦四方	・ひざ車
25	・道衣の着方	・横受け身	・効果的な技を		・固め技	・縦四方	・自由練習			・固め技	・縦四方	・約束練習
	・礼法について	・前回り受け身	・効果的		・けさ固	・縦四方	・自由練習			・けさ固	・縦四方	・ひざ車
	・準備運動	・(右・左)	な技を		・けさ固	・縦四方	・自由練習			・けさ固	・縦四方	・約束練習
	・学習カード	・自分のタイミング	・仲間と話し合		・けさ固	・縦四方	・自由練習			・けさ固	・縦四方	・ひざ車
45		での受け身	う									整理運動・学習のまとめ・次時の確認・挨拶

授業デザイン（4／9）

ストーリーデザイン
[1時間目]
<ul style="list-style-type: none"> ○ オリエンテーション ・学習の進め方を理解し、単元の見通しを持つ。 ・道衣の着方や準備運動、慣れの運動 ・礼法について
[2～3時間目]
<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的な技能を身につける。 ・後ろ受け身 → 横受け身（右・左）→ 前回り受け身（右・左）
[4時間目]
<ul style="list-style-type: none"> ○ 相手に固め技を仕掛ける。 ・固め技の3つの定義 ・効果的な押さえ込み方の考察 ・仲間と話し合い ・3種類の固め技の施し方の確認 ・効果的な技についての発表
[5～6時間目]
<ul style="list-style-type: none"> ○ 固め技を身につける ・けさ固、横四方固、縦四方固、逆けさ固
[7～8時間目]
<ul style="list-style-type: none"> ○ 固め技の攻防を覚える ○ 投げた相手を押さえ込む（ひざ車）
[9時間目]
<ul style="list-style-type: none"> ○ 固め技での試合（団体戦） ・単元のまとめ

主体的・対話的で深い学びに向けて
<p>柔道（武道）の授業は、基本的な技能の身につくことが柔道であるため、教え込む形での授業形態が多い。この授業では、グループでの話し合いやエキスパート活動、それを基にしたジグソーアクティビティやクロストークなど、生徒同士で考えさせ、考えを深める時間を作ることで、生徒がより主体的に学習に取り組み、対話的な活動を通して、深い学びにつなげていくことを期待する。</p>

本時の目標 「相手に技を仕掛けよう」		
本時の展開		
	学習内容・活動	指導上の留意点（指導と評価）
導入	<p>1. 集合、挨拶、健康観察 2. 準備運動 3. 回転運動 受け身（後ろ受け身・横受け身・前回り受け身）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 柔道衣を正しく着させ、身だしなみを整えさせる。 ○ 姿勢を正して、心を込めて元気良く挨拶させる。 ○ 十分な間隔をとって怪我の内容に行わせる。
展開	<p>4. 本時のねらいと学習内容を確認する。 「相手に技をしあげよう（固め技）」 5. 課題解決学習 ① 固め技の3つの定義をもとにグループで効果的な固め方について考える。 　1. 「仰向けであること」 　2. 「概ね相手と向かい合っていること」 　3. 「足または胴体が相手の足に絡まれていないこと」 ② 「けさ固」・「横四方固」・「縦四方固」の3つの技の施し方とそれぞれの特徴について説明する。 ③ ②でわかったことをグループで話し合う。 ④ 最も効果的だと思う固め技はどれか、またその理由をグループで話し合う。 ⑤ グループで話し合った結論を発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時のねらいや学習の流れを理解させる。 ○ 「3つの定義」を確認しながら行うように指導する。 それ以外は、生徒たちに自由な発想で考えさせる。 ○ 技を仕掛ける際は、周囲の状況を確認し、安全に配慮させる。 ○ それぞれの技の利点や課題点についても説明する。 ◆ 自己の考えを相手に伝えることができる 【思②】 ○ 各グループの発表をしっかりと聞くように指示する。
まとめ	<p>6. 整理運動 ・班ごとに整理運動を行う。 7. 本時の評価と次時の課題等の確認 ・学習カードに本時の評価をする。 8. 挨拶</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 柔道衣の乱れを直し、素早く集合させる。 ○ 怪我の有無と体調を確認する。 ○ 姿勢を正して、心を込めて元気良く挨拶させる。

主体的学び

- 「袈裟固」・「横四方固」・「上四方固」の3つの技の施し方や有効な場面を説明する。（エキスパート活動）
- エキスパートでわかったことを班内で発表し合う。（ジグソー活動）

深い学び

- 最も効果的な固め技はどれか、またその理由を班でまとめる。（ジグソー活動）
- 班の答えや考えを全体に発表する。（クロストーク）
- 自分の考えをまとめ、今後の活動にいかす。（クロストーク）

今後の展開
[5～6時間目]
<ul style="list-style-type: none"> ○ 固め技を身につける ・けさ固、横四方固、縦四方固、逆けさ固 【生徒に身につけさせたい動作】 ・相手を抑え込むポイント ・掛けられた技を解き方や逃げ出し方
[7時間目]
<ul style="list-style-type: none"> ○ 固め技の攻防を覚える ・これまでに学習した固め技を用いての固め技の攻防 【生徒に身につけさせたい動作】 ・「押す」「引く」など相手の力を利用して技をしかける
[8時間目]
<ul style="list-style-type: none"> ○ 投げた相手を押さえ込む（ひざ車） ・ひざ車で投げた相手を押さえ込む ・条件をつけた約束練習 【生徒に身につけさせたい動作】 ・投げる動作から固め技へのスムーズな移行 ・固め技を仕掛けてくる相手への対応
願う子供の姿
<ul style="list-style-type: none"> ・仲間と協力して、考えたり、挑戦したりしたことで、意欲的に授業に取り組んでいる。 ・考えさせたことにより、それぞれの技の効果をより深く感じることができた。 ・投げ技のイメージが強い柔道の授業において、固め技への興味・関心が高まった。